



根 笹

2022

(令和4年)

10月1日

発行 根笹会 立見賢治
住所 〒379-0116
群馬県安中市安中3702
TEL. 027-381-0240
FAX. 027-381-0630

全国の同窓生の皆様、お変わりありませんでしょうか。新型コロナウイルス感染症の終息を心待ちにして2年以上の月日が流れました。残念ながらまだ繰り返される変異種の出現により、目に見えぬウイルスとの戦いに終わりが見えません。今年度の同窓会の諸活動につきましても、開催に暗雲が漂いました。しかし、各種行事の3年連続の中止となりますと、今後の同窓会活動の継続性に水を差すことになりかねず、危機感を覚えました。そこで、本部役員会で協議させていただき、できる限りの感染防止対策を講じた上での行事開催の道を模索いたしました。そこで、まず2年連続の書面決議となっていました総会について、学校の礼拝堂をお借りし、総会だけを実施させていただくことといたしました。6月4日(土)10時という日程で総会後の懇親会をはなしという形で開催でしたが、急な呼びかけにもかかわらずご出席いただきました理

事・評議員の皆様のご協力を得て、無事終了することができました。また、折角の礼拝堂での総会開催ということでしたので、聖歌隊に讃美歌合唱をお願いしたところ、快諾していただき、パイプオルガンの生演奏の下、オープニングセレモニーとして素晴らしい合唱を堪能することもできました。聖歌隊の皆さんにこの場を借りて御礼申し上げます。

さて、今年度の同窓会の活動ですが、感染症の影響の真只只中での高校生活を送り、在学中の学校行事や部活動等、高校時代には体験できない様々な貴重な経験の機会を制限されてしまった卒業生たちに対し、同窓会として何らかの支援ができないかと考えているところです。

例えば、今後の感染症の沈静化が条件ですが、各地区根笹会への特別優遇参加策ですとか、クラス会、学年同窓会、各種部活動のOB会などの開催支援など、同窓生間の繋がりを感ずること

2022年 ごあいさつ



新島学園同窓会「根笹会」

会長 立見 賢治

(20期)

役員紹介

会長・副会長

会長 立見 賢治
20期 高崎市副会長 谷 勝彦
25期 高崎市副会長 山田 中久
26期 安中市副会長 静 朋人
32期 安中市副会長 佐藤 光昭
20期 安中市副会長 武者 利通
20期 安中市副会長 小林 栄郎
25期 高崎市

幹事

吉沢 尚志
26期 前橋市湯本 直也
28期 前橋市田中 美香
29期 安中市白田 周一
30期 桐生市大野 晋吾
34期 富岡市

事務局員

須川 裕 (36期)

事務局員

佐俣 幹夫 (28期)

事務局員

沖田 恭子 (28期)

事務局員

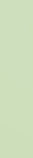
酒井 三恵子 (36期)

事務局員

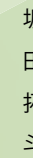
外 処 順子 (37期)

山田 恵一
37期 安中市横山 慶一
38期 富岡市高橋 司
42期 下仁田町前田 美佐
43期 高崎市荻原 昌弘
45期 安中市

櫻井 俊光 (45期)



坂田 拓斗 (57期)



水井 雄太郎 (63期)



外 処 順子 (37期)

のできるような機会を積極的にサポートするというようなことです。同窓会本部役員会で検討してみますが、地区根笹会の皆様を中心に、多くの同窓生の皆様からのお知恵をいただければ幸いです。よろしくお願いいたします。

このような厳しい状況下ですが、今年も在校生たちはよく頑張っています。多くの部活動が県代表として関東大会、全国大会に出場し、活躍してくれています。特筆すべきは、男子バスケ部、男子ソフトボール部の創部72年目にして初の県制覇、インターハイ出場です。OBの悲願であった全国大会出場を遂に成し遂げてくれました。バスケットボール部のOBの一人として、県大会準決勝、決勝そして四国インターハイ初戦と応援に行かせてもらいましたが、コート上で躍動する選手たちから多くの感動をいただき、唯々感謝しかありません。校内各部活動間で互いに刺激し合い、高め合い、大きなうねりを巻き起こした結果だと強く感じています。このムードは学校全体に広がり、学業にも進学にも必ずや好影響を及ぼすものと確信しています。今後さらに母校の動向から目が離せません。

終わりに、母校の益々の発展と、同窓生の皆様のご健勝を心より祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。

『いのちの教育について』



学校法人新島学園
理事長 学園長

湯浅康毅

2022年度新島学園中学校・高等学校同窓会根笹会会報『根笹』発行誠におめでとうございます。昨年に引き続き今年度も学園長を兼務させていただきます。ありがとうございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

立見会長様はじめ根笹会本部及び各支部の皆様には日頃新島学園へのご協力を賜り誠に有難うございます。

まずはじめに、いまだ新型コロナウイルスの影響が続く中であって今年は部活動の活躍が特に目覚ましく、頑張つてこれた生徒一人ひとりに最大の賛辞を送りたいと思います。また生徒の成長に寄り添い支援されておられる先生方に感謝いたします。そして保護者の皆様、いつも応援してくださる同窓会の皆様に心からの御礼を申し上げます。

現在、新島学園では10年ビジョン「NIJIMAGAKUEN GRAND DESIGN 2027」

木を育てる。」の中の第5次中期経営計画（6年計画）の2年目に入り、伝統と革新を更に推進する非常に大切なステージを歩んでおります。事業計画の骨子は70周年記念事業の中でお示しした30年ビジョン「NIJIMAGAKUEN GRAND DESIGN 2047」の実現を目指しつつ、一昨年度から本格的に取り組んでおりますコンプライアンスとガバナンスの体制強化を踏まえ、激しい時代の変化に対応しながら、更に新島学園

らしさを新たにしていける取り組みを積極的に進めております。今年、10年ビジョン「NIJIMAGAKUEN GRAND DESIGN 2027」木を育てる。」の中間地点でもある75周年を迎えております。この時を記念し様々な取り組みを進めております。

まず70周年記念式典で目標を掲げました学校法人新島学園出資の子会社の設立が無事完了いたしました。設立日は開校記念日と一緒の5月5日になります。社名は株式会社良心舎といたしました。代表取締役は本校法人の総務企画担当理事である八田祥孝氏（28期）が兼務することとなりました。今後私立学校らしい独自の教育環境を備えるため、また教育現場では積極的に関わり組めない事業や地域社会との接点を通して質の高い活性化地域の教育活動へ還元するこ

とを実現するため今後更に実働させて参りたいと願っております。

もう一点が『新島学園ものがたり』という書籍を同じく開校記念日に出版いたしました。著者は同志社大学神学部元教授、現学校法人新島学園理事であり、新島裏研究では第一人者である本井康博先生です。発行は株式会社良心舎です。この『新島学園ものがたり』新島裏の志を受け継ぐ同志たち』は75周年を記念し出版いたしました。今後副教材としても全校で活用すること、そして現在広く同窓生の皆さまにご利用いただいております「みんなの新島学園募金サイト」の返礼品としてもご用意させていただきます。勿論一般向けにも販売しております（税込770円）。本井先生にとっても京都・同志社以外で新島裏をテーマにした外伝版を執筆されるのは今回が初めてのことです。是非多くの方に読みいただきたい一冊です。

そして70周年の時に結成し、その後定期的に発表の機会を作ってきました「新島学園フィルハーモニーオーケストラプロジェクト」ですが、今年、校歌（作詞：岡部鎗三郎、作曲：黛敏郎）のオーケストラ用譜面を制作いたしました。こちらを担当いただいたのが



みんなの新島学園
募金サイト
新島学園ものがたり
掲載ページ



さて昨年は「教育の五原則…新島学園ファームの意味」というテーマで好き勝手な思いをしたためましたが、同窓生の皆様に毎年メッセージをお送りできる機会を与えていただき本当に有難く思っております。

締め切りぎりぎりにならない
と文章のイメージが頭の中に浮



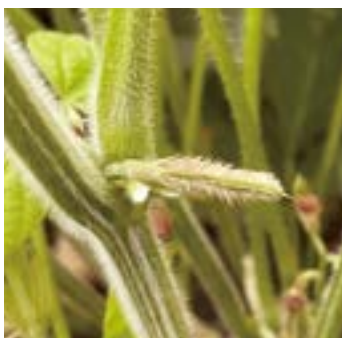
かんでこないのでもいつも本当に困っていて担当の方にはご迷惑をお掛けしてしまうのですが、これまでは自分のパソコンに向かって原稿を入力するのが常でした。しかし今回の原稿は実は新島学園ファームでの農作業をした後の木陰でiPadに入力したものを届けしています。

私は基本的にデスクワークが苦手な人間です。もともと職人が多くいる環境で育てられたので、現場で頭と体と心を動かしていないと本領が発揮できないような気がしています。

一昨年から教育の五原則を体現する場所として耕作放棄地の土づくりから始めた新島学園ファームでは自然栽培で菜種を育てていますが、今年からは70周年記念事業の時に行った「大豆の栽培プロジェクト」も一部再開しています。

菜種同様、農薬を使わない土本来の力を活用した自然栽培法で育てているため、特に芽が出てからの除草作業をいかにこまめに行うかでその後の収量に大きな差が出ます。ご指導いただき「菜の花プロジェクトin甘楽」代表の強矢義和さんからは目標収量も宿題としていただいていますし、一緒に作業をしてくれる生徒たちと共に成長を見守り収穫の感謝ができるよう大人の都合で楽をして適当に作業をするわけにもいかず真剣勝負です。夏場は大切な発芽時期でもありますが生徒たちは生憎夏休みになるので一緒に作業をすることもできず一番大事な初期除草作業を行うのは私を含む学園関係の有志の皆さんです。

夏場日中の作業は熱中症になる確率が高いので日の出前の早朝に作業をするようにしています。早く起床し涼しい中、朝日を背に無心になって作業を行っていると、朝の時間を有効活用できますし、頭の目覚めも良く、一日のバイオリズムも改善し、規則正しい生活



大豆の莢（9月1日）



大豆の開花（8月24日）



9月1日現在



大豆発芽直後

が中心になり、これまでの人生で今が一番健康なのでは？と勘違いしてしまっています。と同時に比較的デスクワークが多い日々を過ごしている中で、自然と触れることでバランスが取れ、生態系の一部である人という存在について改めて考える時も与えられています。

昨年の会報でも触れたとおり、今後ICT教育がますます進む中で、指先で触れるものはPC、タブレット、スマートフォン等の人工物が多くなり、命を育む大地との接点がますます乖離していつてしまうこと、この流れの中で新島学園ファームの取り組みは対ICT教育として人として育まれていくためのバランスを取るための教育として捉えていきたいことをお伝えしました。私立学校の大きな特徴である自主性を重んじた新島学園では心と体が一番成長する人生で大切な時にどれだけ多くの良質な経験を学校が提供できるか、No Place like Nijima的な価値を提供できるか、を常に大切にしていること、そして次代を担う若者に対して我々大人は本来に大切なことを伝える責務があると思っています。

このような中、ただでさえ人の尊厳が軽んじられ虐げられてしまうことを目にするのが多くなっている現代にあつて今年

の2月24日にロシア軍がウクライナに侵攻するニュースを目の当たりにしました。このことからすぐ翌日に中高礼拝堂横にある塔を平和の象徴であるホワイトカラーに点灯し、いまだに収束が見えない状況ですが毎日平和を祈る光を安中キャンパスから灯し続けてその姿を世界に発信しています。



平和を祈る光 (安中キャンパス)

た戦争の在り方もかつての陸海空の物理的な領土略取を目的とした戦争から、サイバー空間や宇宙空間にまで広がっていく一方、多様化・高度化した戦争は経済的には決してメリットがないことも言われている中において、今回のロシアによる侵攻は時代が過去に逆行するような動きを見せており、また隣国においても有事への懸念が高まっている状況もありただただ人類が繰り返す愚かさに対し救いがあることを祈るばかりであります。

る言葉で「自由」があります。私は「自由」とは「自由が赦されている」と理解しています。私たちが受け継いでいる理念はここに紐づいています。我々の元となるキリスト教の教えでは「全面受容と問い」があります。これは新島襄が触れたアメリカの会衆派教会から受け継いできている教えですが、神の前にあつて全ての人は等しく、性別、肌の色、生まれ、地位や権力、言語等に表面的な差異はあっても本質的にはみな神から与えられた命であり変わりが無いことを指します。この考えを元に、人はどのような立場であつても神は全てを受け入れてくださる「全面受容」という愛を享受しています。一方で神の愛に浸り全面的に受け入れられていることだけで終わりではなく、同時に「いまのあなたは、いまのまま良いのですか？」との問いが常にあります。この全面受容と問いの教えに触れることで、決して個人の好き勝手ではない、本当の自由の意味を知ることにつながると思います。

ルスの影響もあり少子化の流れが10年前倒しになる中、いち早く影響を受ける本校でも次の歩み方を模索するため抜本的な構造改革を進めている最中です。ただこの中であつて少子化に伴う経済状況であるとか、他校の状況であるとか、世の中で推進しているDX化の流れを偏った判断基準で進めることや、反対に本校の課題の解決だけを指す狭い範囲での改革は十分気をつけていかなければなりません。キリスト教主義学校である新島学園全体をありのままに受け止めつつ、常に新島学園は今の新島学園のままで良いのか？新島学園だけが良くなることに心を割いていないか？反対に悪い状況になることをただ憂いていないか？それよりも次代のために今我々に何ができるのか？本当に必要なことは何なのか？我々の使命とは？を常に問うていきたいと思っています。



教育を具現化した取り組みであり、現在歩みを進めております第5次中期経営計画に繋がり、理事長ビジョンである「NO Place like Nijima」に通じ、教育理念である教育の五原則と関

係し、建学の精神の実現を目指すための次代の学びの在り方でもあります。

現在準備を進めておりますが、狭い範囲でなく出来るだけ様々な視点からいのちについて理解を深めるため情報収集を行っております。宗教別、国別での捉え方、日本（群馬県・安中市）での取り組み事例について、専門家からのヒアリング、現地視察等多岐に亘ります。

こういった様々な視点を通して新島学園としてこれまで行ってきた関連する取り組み事例を確認し、他校を模倣しこなすための行事ではなく、私立学校として建学の精神の実現を達成するために新島学園独自の教育の在り方を目指し、年を追うごとに練られ成熟され、オンラインワンの伝統となるべく育てていきたいと願っています。

この取り組みを進めていくうえで個人の考え方・捉え方を述べたいと思います。それはいのちは人だけに与えられているわけではないということです。人は当たり前のように日々暮らしています。多くのいのちによって支えられ、補い合い、繋がっているという点を忘れがちだと思えます。自らの胃腸でさえ、菌の存在が適正に働かなければ生きていくことさえできない存在です。

またクリスチャンとしての考

え方は、いのちとは神から与えられたものであり、お預かりしているものと考えています。そしてこの世の務めを終える時には神にお返しするものと理解しています。

一昨年から始めております新島学園ファームの取り組みも実はいのちの教育を進めていくうえで欠かせない存在として考えており、教育理念を具現化する意味も含め先行して始めさせていただいております。

理事長ビジョンの中の姿勢で「本物・本質主義」を示しております通り、この新島学園オリジナルの教育方針として育てていきたい「いのちの教育」はいのちの源であり、神が人を創造されたとされる「土」から学ぶことを骨子に据えたいと思っています。

まだまだ感染症の心配が続き、生活も制限を余儀なくされております。くれぐれも体調を崩されませんよう、また安心して対話出来る日を待ち望みつつ、皆様の心と体の健康が守られますようお願いしております。



「試練の後には…」



新島学園中学校・高等学校

校長 古畑 晶

民数記 21章4節～9節 青銅の蛇

「彼らはホル山を旅立ち、

エドムの領土を迂回し、葦の海の道を通って行った。しかし、民は途中で耐えきれなくな

って、神とモーセに逆らった。神は「なぜ、我々をエジプトから導き上ったのですか。荒れ野で死なせるためです

か。パンも水もなく、こんな粗末な食べ物では、気力も失せてしまいます。」主は炎

の蛇を民に向かって送られた。蛇は民をかみ、イスラエルの民の中から多くの死者が出

た。民はモーセのもとに来て言った。「わたしたちは主とあなたを非難して、罪を犯し

ました。主に祈って、わたしたちから蛇を取り除いてください。」モーセは民のために

主に祈った。主はモーセに言われた。「あなたは炎の蛇を造り、旗竿の先に掲げよ。蛇

にかまれた者がそれを見上げれば、命を得る。」モーセは

青銅でひとつの蛇を造り、旗竿の先に掲げた。蛇が人をかんでも、その人が青銅の蛇を仰ぐと、命を得た。」

いことは当たり前になってきてしまいます。不満が満ちてくるといのが人ではないでしょうか。神からの恵みに感謝せず、人としての不満がふれてくるのです。

そんなとき、更なる試練が与えられるということを示唆しているように思われます。イスラエルの民に、炎の蛇が与えられたように、わたしたちにコロナウイルスが与えられたような気がします。いつまでたっても、コロナ不安から解放されません。聖書にあるように、わたしたちもその病にとらわれて一喜一憂するのではなく、イスラエルの民が旗竿の先に掲げた青銅の蛇を仰ぎ見て命を得たことを覚え

ます。神が、必ずこの危機を克服させてくださり、良き方向へと導いてくださると信じています。もう少しの我慢と前向きな姿勢の向こうに、より良い未来が待っているような気がします。

冒頭の聖書の箇所は、旧約聖書においてイスラエルの民がエジプトを脱出し、荒野で40年の旅をしている最中の出来事です。長い旅において疲れ果て、恵みをたくさんいただいているにもかかわらず、神や指導者に不満をもちイスラエルの民でした。わたしたちも、長い人生において、良いことも悪いことも経験してきました。どちらかというと悪いことに目が向いて、良

いことは当たり前になってきてしまいます。不満が満ちてくるといのが人ではないでしょうか。神からの恵みに感謝せず、人としての不満がふれてくるのです。

そんなとき、更なる試練が与えられるということを示唆しているように思われます。イスラエルの民に、炎の蛇が与えられたように、わたしたちにコロナウイルスが与えられたような気がします。いつまでたっても、コロナ不安から解放されません。聖書にあるように、わたしたちもその病にとらわれて一喜一憂するのではなく、イスラエルの民が旗竿の先に掲げた青銅の蛇を仰ぎ見て命を得たことを覚え

ます。神が、必ずこの危機を克服させてくださり、良き方向へと導いてくださると信じています。もう少しの我慢と前向きな姿勢の向こうに、より良い未来が待っているような気がします。

コロナ不安はまだまだ続きますが、新島学園も少しずつ日常の営みに戻りつつあります。3月には、3学年の研修旅行や修学旅行が行われました。4月には、中学の史跡巡りが3年ぶりに3学年そろって行われました。

スポーツの大会や文化祭の

大会も制限はあるものの通常に近い形で行われました。どのクラブも頑張りました。特に、男子ソフトボール部、男子バスケットボール部、女子陸上競技部、新体操では全国大会に出場することができました。中学演劇部も頑張りました。2022 関東中学校演劇コンクール（中学演劇の関東大会）で金賞を受賞し、関東代表として全国中学校総合文化祭福岡大会（全国大会）に出場しました。



中学校 史跡巡り



関東中学校演劇コンクール金賞（演劇部）



県大会初優勝（男子バスケットボール部）

学年の生徒一人ひとりにタブレット端末を購入していただきました。生徒たちが有効に使用出来るように、先生方の研修も進んでおります。

例年、夏にはエンパワープログラムが行われていましたが、海外の留学生が参加できなくなり、通常の形では行うことが難しくなりました。このプログラムは、優秀な海外留学生が一人ずつついて、小グループの生徒たちとディスカッションをするのです。海外経験のない生徒たちも、この経験を通して海外に興味関心を持つようになります。今年は、中学3年生、高校1年生が全員参加という形で、日本在住の外国人留学生が参加して、各学年2日間の日程で「Two-day Empower Program」が行われました。

最後に、英語部を中心として行われたディベート大会のための練習についてお話しします。ディベートは、ひとつの論題に対して肯定側と否定側に分かれます。肯定側は、自分の意見にかかわらず徹底的に肯定します。また否定側は、徹底的に否定します。内容を詳しく調べて相手を論破していく競技であり、学校対抗で行われます。授業でも取り入れられています。今年も、これから県大会やブロック大会が行われ、その先には全国大会が行われます。昨年は、惜しくも県大会を突破することができませんでした。



Two-day Empower Program

今年、キース・イチナガ先生の指導の下、事前の練習を全国の高校に呼びかけて、Zoomによるオンライン形式で行われました。新島学園主催の練習会において、福岡・岩手・茨城・新潟・福井・高知・山形・本校の8校が、2校ずつに分かれ対抗戦で4試合が行われました。論題は、本大会で行われる「The Japanese Government should abolish the mandatory retirement age systems.（日本政府は定年制を廃止すべきである。是非か。）」です。

ディベートの練習を通して、お互いに意見の交換をするなど、生徒同士の良い交流ができました。各学校とも、本大会で実力を発揮していただきたいと思っております。



オンラインによるディベート

2021年度 第30回 根笹賞 受賞団体・個人一覧

高等学校の部

	名称(部活動名等)	大会名	種 目	結 果
1	3X3バスケットボール	第8回3X3U18日本選手権大会	3X3バスケットボール	優 勝
2	陸上競技部	第56回群馬県高等学校総合体育大会陸上競技	女子総合	優 勝
3	ソフトボール部	2021全国高等学校男子ソフトボール選抜大会		第3位
4	山岳部	第56回群馬県高等学校総合体育大会登山競技	男子	第2位
5	男子バスケットボール	第56回群馬県高等学校総合体育大会兼 第75回関東高等学校バスケットボール選手権大会県予選会		第2位
6	硬式テニス部	令和3年度群馬県高等学校テニス選手権大会	男子団体	第3位
7	卓球部	令和3年度群馬県高等学校卓球選手権大会		第3位

	名称(部活動名等)	名 前	学年	大会名	種 目	結 果
8	3X3バスケットボール	柄 澤 日 向	2年	第8回3X3U18日本選手権大会	3X3バスケットボール	大会MVP
9		高 尾 美 月	3年	JOC第15回U18陸上競技大会	女子3000mW	優 勝
10		布 施 彩 奈	3年	第56回群馬県高等学校総合体育大会陸上競技	女子七種競技	優 勝
11		星 野 心 愛	3年	第74回群馬県高等学校対抗陸上競技大会	女子400mH	優 勝
12		今 泉 千 佳	3年	第56回群馬県高等学校総合体育大会駅伝競走の部	女子駅伝	第3位
13		阿 部 田 莉 月	3年	JOC第15回U18陸上競技大会	女子3000mW	第7位
14		藤 野 萌 嘉	2年	令和3年度群馬県高等学校新人陸上競技大会	女子ハンマー投げ	優 勝
15	陸上競技部	山 口 萌 乃	2年	令和3年度群馬県高等学校新人陸上競技大会	女子400mH	優 勝
16		白 鳥 美 羽	2年	令和3年度群馬県高等学校新人陸上競技大会	女子砲丸投げ	第2位
17		高 木 なるみ	2年	JOC第15回U18陸上競技大会	女子800m	第8位
18		樋 口 里 桜	2年	JOC第15回U18陸上競技大会	女子3000mW	第4位
19		黛 月 菜	2年	第56回群馬県高等学校総合体育大会陸上競技	女子やり投げ	第3位
20		川 田 夏 鳴	1年	令和3年度群馬県高等学校新人陸上競技大会	女子三段跳	第2位
21		矢 島 好 逢	1年	第74回群馬県高等学校対抗陸上競技大会	女子800m	第3位
22	スキー部	永 井 愛 莉	3年	第56回全国高等学校総合体育大会スキー競技	回転(スラローム)	第3位
23	卓球部	眞 下 尚 大	3年	第56回全国高等学校総合体育大会卓球競技	男子ダブルス	第3位
24		関 舞 央	2年	第56回全国高等学校総合体育大会卓球競技	男子ダブルス	第3位
25	山岳部	小 栗 康 生	2年	第52回新人登山大会	男子個人	第1位
26		杉 澤 慧 海	1年	第52回新人登山大会	男子個人	第2位
27	バドミントン部	松 島 勇 海	1年	第72回群馬県高等学校新人バドミントン大会	男子ダブルス	第4位
28		横 内 駿	1年		男子ダブルス	第4位
29	写真部	楠 本 文	3年	第7回朝日中学生高校生フォトコン	大賞 朝日新聞社賞	
30	特別課外活動(新島論文)	中 山 真里奈	3年	2021年度 新島襄生誕179年記念学生・生徒懸賞論文 「新島襄と阪本龍馬の洗濯」	高等学校の部	最優秀賞
31	特別課外活動(水泳)	野 村 未 桜	3年	令和3年度群馬県高等学校総合体育大会 水泳競技会	200m背泳	第2位
32	特別課外活動(新体操)	小 野 寧 々	2年	令和3年度群馬県高等学校総合体育大会 新体操	女子個人総合	優 勝
33	特別課外活動(自転車)	松 島 煌 和	2年	箱根ヒルクライム2021男子高校生クラス		優 勝
34	特別課外活動(書道)	今 井 花 香	3年	第62回「大東文化大学全国書道展」	全国書美術振興会賞	
35	特別課外活動(作文)	茂 木 俊 輔	2年	令和3年度第60回「税に関する高校生の作文」 「登山に学んだ新しい価値観」	群馬県知事賞	
36	陸上競技部	林 絹 華	2年	第30回関東高等学校女子駅伝競走大会	出場	
37		松 岡 愛 優	2年	第30回関東高等学校女子駅伝競走大会	出場	
38	特別課外活動(新島論文)	藤 井 綜 汰	3年	2021年度 新島襄生誕179年記念学生・生徒懸賞論文 「良心教育から考える法規制の在り方 ～新島襄とローレンス・レッシング～」	佳 作	
39	特別課外活動(明石杯)	金 田 仁 愛	2年	2021年明石杯高校生英語コンテスト	スピーチ第1部	第2位
40	特別課外活動(アプリコンテスト)	為 谷 秀 太	2年	信州未来アプリコンテスト0(ZERO)	U18部門 信州大学長賞	

中学校の部

		名称(部活動名等)	大会名			種 目	結 果
41	特別賞 団体	ソフトボール部	第49回関東中学校新人ソフトボール大会			男 子	優 勝
42		陸上競技部	第70回群馬県中学校駅伝競走大会			女子駅伝	優 勝
43		バドミントン部	第43回 群馬県中学校バドミントン大会			男子団体	優 勝
44		男子サッカー部	第56回群馬県中学校総合体育大会			男子団体	準優勝
		名称(部活動名等)	名 前	学年	大会名	種 目	結 果
45	特別賞 個人		大 沢 紗 野	3 年	第70回群馬県中学校駅伝競走大会	第 4 区	区間賞
46		陸上競技部	田 代 莉奈子	2 年	第36回東日本女子駅伝競走大会	群馬県代表 (第 4 区)	優 勝
47		バドミントン部	佐 瀬 龍之介	3 年	第43回群馬県中学校新人バドミントン大会	男子ダブルス	優 勝
48			濱 西 心 太	2 年	第43回群馬県中学校新人バドミントン大会	男子ダブルス	優 勝
49		硬式テニス部	石 井 愛 笑	2 年	第74回関東中学生テニス選手権大会群馬県予選	女子シングルス	第3位
50	奨励賞 個人		舘 野 眞 子	2 年	第29回全国中学校駅伝競走大会	第 5 区	出 場
51		陸上競技部	瀧 本 舞 桜	2 年	第29回全国中学校駅伝競走大会	第 4 区	出 場
52			ズ ゴ ー 海 羽	1 年	第29回全国中学校駅伝競走大会	第 2 区	出 場
53		特別課外活動 (作文)	小 町 龍之介	3 年	第71回「社会を明るくする運動」作文コンテスト	群馬県更生保護女性連盟会長賞	

男子バスケットボール部

「県大会初優勝」という

『てっぺん』から見たもの



新島学園高等学校

男子バスケットボール部顧問 青柳保志

新島学園に赴任して早いもので今年25年目になりました。幼少の頃に観ていたアニメ『ど根性ガエル』で主人公ヒロシの担任 町田先生は「教師生活25年…」が口癖でしたが、気が付くと私もそんな歳に成っていました。そんな初老の私に、この夏ビッグなプレゼントが舞い込みました。中高同時「県大会初優勝」です。これは中高一貫校である新島学園だからこその出来事で、県内バスケットボールの種目において初めての快挙です。

私が最も嬉しかったことは『頂点(てっぺん)』の称号はもちろんの事で、卒業生の皆様とその保護者様、地域の方々、更には県内外の他校バスケット指導者・先生方が大変に喜んでくださったことです。こんなにもたくさんの応援の中で、バスケットボールに関わってこられたんだと実感、感謝の気持ちでいっぱいです。また私の高校時代の恩師で本学同窓会

長である立見賢治先生は、赴任当初より公私共に支えて頂き、私の人生の道標です。その恩師の前で決勝を戦い、結果をもってご報告できたことはこの上ない喜びです。

私は指導者になる時に、①日本代表選手を育てる。②チームを全国大会に出場させる。という2つの目標を立てました。「日本代表選手を育てる」については未だ達成できておりませんが、大学時においてU20日本代表合宿に選ばれた53期生がいます。また57、58期生では大学卒業後プロ選手になった者もいます。その3名は新島学園でバスケットボールに出会った卒業後、道を極めてくれたと思うととても感慨深いです。更には上級審判員や中学指導者としても活躍している者もいます。またバスケットボールに関する仕事を将来の目標として頑張っている者もいます。日本のバスケットボール界の一端を担う人材を育成できた



中学校 県大会初優勝

ことを誇りに思います。そしてこの度「チームを全国大会に出場させる」という目標を生徒たちに叶えてもらいました。指導者としてこの上ない喜びです。

私は中学1年生からバスケットボールをはじめました。各ステージで個性豊かな指導者に鍛えていただき、大学・実



業団まで続けることができた。全国優勝は40歳、とても遅咲きの選手でした。そんな自分の経験から「選手個人の花はいつ咲くか分からない」と考え、バスケットボール初心者も大切に育ててきたつもりです。近年は卒業生が現役生を指導・激励のため、来校してくれる度に「教師生活25年」



高校 県大会初優勝

は無駄ではなかったと思っています。転動のない新島学園だからその『人財』が私とチームの宝物です。

バスケットボールを通して新島学園に尽くしてきた25年の間に長女(68期生)は大学4年生となり、今でも当時一緒に頑張ってきた女子バスケット

ト部の友人たちとの交流は続いております。次女は74期生、女子バスケット部所属の高校1年生です。苦しさや辛さを超えて、仲間と共に目標に向かっていく最中、その経験が将来必ず役立つと信じています。娘2人のバスケットボール人生を応援できる幸せと家族の協力を感謝しつつ、保護者の立場から見ても『新島ファミリ』という固い絆は心強く思います。

61期の部員が卒業文集に「いつか後輩たちが、群馬県の頂上（てっぺん）に立つことを信じています」と綴ってくれました。今大会、私が群馬県の『てっぺん』から見えたもの…。それはさらなる頂上への景色よりも『てっぺん』までの道のりでした。

部員たちが流した汗や涙で開拓した道を、後輩たちが更にその先へ伸ばしていく。ここまでの25年かかりでしたが、毎年新チームのスタートと共に、卒業した部員たちが整備してくれたその道を、山の麓からまた登り始める。そして今年「てっぺん」までの最後の道は、とても険しく厳しいものでしたが、全ての皆様方の励ましや声援が力となり、チームを頂上まで押し上げてくれたと思っています。

さて、7月下旬に香川の地で



瀬戸大橋にて

行われた全国大会では、コロナの影響もあり満足な試合をすることはできませんでした。小栗副校長や学校医の正田先生の協力を得ながら、なんとか部員11名で参加しました。そして新島学園バスケット部はインターハイ初出場という貴重な体験をすることができました。今大会ベスト4に進出した静岡県の藤枝明成高校に初戦敗退となってしまいましたが、この試合で主将の柄澤日向が、1試合最多得点者となり、結果よりも記憶に残る試合となりました。

ました。

インターハイ期間中からはじまった中学生の大会は、中学顧問の水井雄太郎先生（63期生）と部員たちが高校生に続けとばかりに頑張ってくれました。香川から帰宅した。翌日から私も参加し、優勝の勇姿を見届けることができました。しかしながら8月上旬に東京で行われた関東大会では、雀宮中学校（栃木県2位）に初戦敗退。ベンチワークや指導の難しさを痛感いたしました。

バスケットボールというスポーツは、日本において新たなステージに入ってきました。2015年にはプロリーグ「Bリーグ」が発足し、日本人NBA選手の出現や、東京オリンピックでの女子銀メダル獲得など、目紛しく進化しています。

また学校における環境は「働き方改革」「部活動問題」など変化しています。この激動の中、新島学園はどう進化していくのか？ 私は25年間そうしてきたように、日々を大切に、生徒の成長を一番に考えていきたいと思っています。

「群馬県チャンピオン」という山は、バスケットボールの進化や学校の諸問題と比べ、とても小さなものかも知れませんが「頂上（てっぺん）」に登った事実とその道のりを勲章に、自分らしく精進して参ります。

新島学園バスケットボール部を応援してください。全員の皆様に心から感謝申し上げます。今後とも引き続きご支援をお願い申し上げます。



全国大会の試合前アップ

新島学園バスケットボール部 2022夏の戦績

高等学校

インターハイ予選

2回戦：新島学園	200	—	17	長野原高校
3回戦：新島学園	93	—	35	沼田高校
4回戦：新島学園	109	—	64	桐生第一高校
準決勝：新島学園	85	—	76	樹徳高校
決勝：新島学園	80	—	76	前橋育英高校

香川インターハイ

1回戦：新島学園	82	—	136	藤枝明誠（静岡県）
----------	----	---	-----	-----------

中学校

中体連総合体育大会

1回戦：新島学園	91	—	43	伊勢崎三中
2回戦：新島学園	63	—	36	笠懸中
3回戦：新島学園	75	—	48	吉岡中
準決勝：新島学園	86	—	62	群大附属中
決勝：新島学園	76	—	60	伊勢崎あずま中

中学関東大会

2回戦：新島学園	68	—	80	雀宮（栃木2位）
----------	----	---	----	----------



中高優勝旗

恩師探訪

やまがた ひではる
山縣 英明 先生



2021年6月3日(木)、新島学園中学校・高等学校の第1応接室で山縣英明先生にインタビューをさせていただく機会を持ちました。学園の創立当時の様子をお伺いしたいと申しましたところ、快くお引き受けくださいました。

山縣先生のご自宅は旧安中

高校のお近くです。当日は、歩いて学園までお越しくださいました。御年89歳ですが、豊饒(とく)という言葉を使うのをはばかられるほど、お元気な様子うかがえました。現在でも安中市国際交流協会の顧問および、日本語教師として活動され、外国人への日本語の先生として授業ボランティアをなさっています。安中市国際交流協会は、その設立に大きく関わり、会長として長らく活躍されておられました。そのバイタリティーあふれる行動力と、往時を偲(おも)わせる若々しさは、まさに「万年青年・一生現役」といった感じです。当日は、新島学園中学校・高等学校の古畑晶校長先生もインタビュー

にご同席くださいました。

山縣先生は、2014年に『昭和の激流の中で』という題でご家族の歴史書を出版し、その翌年には、自叙伝『昭和の激流の中を』を出版されています。今回は、この自叙伝『昭和の激流の中を』の内容にそって、お話をうかがいました。

以下、伝え聞きの部分が多く曖昧な表現がある点にご容赦ください。なお、ご本人を第一人称として、自らが語る文体としたために、敬語が不適切な部分があります点はご容赦願います。

山縣英明は、東京の出身で1932年に本郷で誕生。幼少期の日本は、当時の満州国の資



自叙伝「昭和の激流の中を」

源開発等の影響もあり、国内景気はまずまずであった。父は洋服仕立て業を営み、従業員も数名使い、忙しいながらも幸せな生活だった。5歳の頃に東京郊外の豊島区に自宅を建設して移住。当時の池袋周辺は、まだ自然が豊かで、田畑も多く、トンボが飛びフナやザリガニが釣れる池もあった。

小学校を卒業、豊島中学校(第三東京市立中学校、現在の都立文京高校)に入学。そのころから日に日に戦局は悪化、東京大空襲を体験。一家で、父の故郷でもある群馬へ疎開を決意。実は、山縣家はかつて、現在の高崎市豊岡に住んでいたことがある。私の五代前の先祖である「山縣友五郎」が、高崎の「縁起だるま」造りの始祖である。荷車に積んだ家財道具を引いて、父と二人で徒歩にて出発。約120キロメートルを、四昼夜かけての大移動であった。この経験は、以後の人生において、苦難にめげないたくましさ、「なんとかなるさ」という心の強さの原点となった。

群馬では、旧制高崎中学校の2年に転校し、学校生活を送る。残念ながら群馬の公立学校の荒っぽい校風には、あまり良い思い出は無い。終戦を迎え兄の戦死などもあり、家業である洋服仕立て業を継ぐべく高崎中学を四年終了時で自主退学。家



古畑校長先生と一緒に

業を助け、洋裁の腕を磨きながら、農作業などにも精を出した。その後、就職することも考えたが、親戚から進学のおすすめがあった。家族に相談し、進学を決意し、創立4年目の新島学園への編入試験を受け合格。新島学園第1期生として、高校2年生の生活が始まる。

新島学園では、その自由な雰囲気はもちろん、高崎中学時代とは比べものにならないほど充実した学園生活が待っていた。一生の中でも最も充実した学びの時となった。当時は終戦後の混乱期でもあり、戦地に赴いた教員も多かった。教員の確保は非常に難しいものだったと思う。

一般的な学校においては、い

わゆる代用教員を採用せざるを得ない時代であった。そんな時代に、新島学園の先生方の経歴や学歴は目を見張るものがあつた。東京帝国大学・北海道帝国大学・帝国美術学校卒業などの国内はもちろん、ケンブリッジ大学、エール大学、オベリン大学、アウバン神学校、など国内外の超一流校を卒業・修業した先生方や、アメリカ人の英会話の先生もいらしたのである。そして、そうした先生方は敬虔なクリスチャンも多く、学歴だけでなく、その人柄も素晴らしい方々が多かった。戦争を体験し、『敗戦後の社会を新しく作る』、『キリスト教主義の学校を建てる』という理念に共鳴した方々が集まったのだと思う。本来な



新しい職員室を視察

らば、大学教授となるような先生方が、片田舎の小さな私立学校で、理想と考える教育を実践していたのである。当時の先生方には、本当に親身になって育ててもらったという思いが強い。

新島学園の第2期生は、新制中学校の1年生である。それ以上の年齢者は第1期生として学んだので1期生の年齢はさまざまであった。従軍経験を持つ同級生や、他校からの転校生もいた。それゆえ、編入で高校2年からの合流であったが、あまり気にならなかった。また、学校では、アメリカカンボドからの奨学金を受けることが出来た、本当に有り難かった。部活動としては文芸部に入って活動した。授業もちろんだが、松島一男先生には部活動でも非常にお世

話になった。

学校は工場の跡地であり、コンクリートの基礎がむき出しの部分が多かった。放課後に、先生方と一緒にあって、そうしたコンクリートをツルハシやハンマーでたたき割って校庭を作る手伝いをした。自分たちの学校を、自分たちの手で作ったのだという思いが非常に強い。今でも学園の校庭に立つと、その時のことが思い出され、感慨もひとしおである。学園の教育の五原則の一つ「勤労を尊び、天然資源の利用を学ぶ」を、まさに地で行く取り組みであった。また、先生と生徒と一緒に行う勤労体験は、学生歌1番の「友は我が師、師は我が友」そのものであった。

高3の春には修学旅行があったが、経済的な理由もあり参加は控えた。担任の山崎金治郎先生は、修学旅行に行けなかった生徒2名を、中学1年生の遠足の引率アシスタントとして同行させてくれた。2人だけの思い出の「修学旅行」である。

大学受験の準備は短かったが、本当によく勉強をした。授業でも厳しく鍛えてもらい、実力向上が感じられた。受験の時の参考書なども、そのほとんどは先生方からいただいたものであった。第一志望の東京都立大学への合格を伝えると、先生方は我が事のように喜んでくれた。

大学時代は、本来の自宅のある東京に住んだ。学業とともにアルバイトや多くの活動に精を出した。父の手ほどきで、洋服の仕立て技術はすでに身に付いていた。スーツやズボンを作ったり、修理をすることも出来たので、学生としては高額のアルバイト収入を得ることができた。大学3年の時に父が他界。いよいよ一家の長として家庭を支えなければならなくなった。

卒業が近くなり、いくつか入社試験にも臨んでいた。そんな時に、母校の新島学園から国語教師の誘いが来た。恩師の山崎先生の薦めもあり、群馬に戻っての生活を決意した。家族を東京に残し、一人での群馬の生活である。当時の新島学園の初任給は約8000円、学生時代に洋裁のアルバイトで得ていた月収の方が高額であった。しかし、自身を鍛えてくださった恩師の先生方とともに、母校で働くことは、非常に誇らしいものであった。同様に、恩師から「山崎先生」と呼ばれることには、自分も教職員であるという覚悟と緊張感がみなぎった。

新任教員であることから、学業業務ではさまざまなことをやった。文化部では「図書部」の担当であった。運動部はいろいろな部の顧問になった。本来スポーツは得意ではなかったが、技術の高い生徒に教えてもらう

こともあり、自分でも技術の向上が見られ楽しかった。こうした経験も「友は我が師、師は我が友」である。関係した部活動は、バスケット、陸上、相撲、剣道、バドミントン、硬式テニスなど多岐にわたり、これだけでも学園の発展を感じることが出来る。

ある時、山崎金治郎先生から、私と淡路博和先生が相撲部の土俵（現在の格技場のあたりであった）の所に呼び出された。その時の卒業生教師は我々2人だけであった。そこで、深刻な話を切り出された。「北海道に新設されるキリスト教主義の学校に校長として誘われている。新島学園を勤め上げたいの今では非常に悩んでいる」という話であった。私は、恩師と別れることとなるかもしれない事を寂しく感じつつも、先生のキャリアアップに繋がることだと感じた。「行くべきだ」というようなことを話したのを覚えている。私と淡路先生が呼ばれたのは、山崎先生が熱心に誘ってくださり我々は採用となった経緯もあり、自らが新島学園を離れるのを辛く思っておられたためであろう。その後、山崎先生は、北星学園余市高校の校長として任地へ旅立った。その学校では新島学園の『教育の五原則』をそのまま使っていたと聞いている。



同窓会名簿をご覧になる様子

男子校だった新島学園にも、共学化の話題が登るようになった。20期高校1年生、23期中学1年生から女子生徒を順次入学させることになった。女子の入学と共に、女子制服を作ることとなった。洋裁の心得があり、実際に仕立屋の経験を持ち、服飾について詳しいということ、女子制服選定委員となった。

作るからには、他校と明確に区別がつく《上品な物》を目指した。東京の名門校やデパートの服飾担当者にも当たり、いろいろと比較をするなどして計画を進めた。最終的に、グレー生地ダブルのジャケット、折り返した襟の部分は紺色。スカートはボックスプリーツ型で紺色。グレーの共生地でやはりダブル仕立てのベスト。ボタンは花をモチーフにしたような、柔らかな雰囲気樹脂でできた角を丸めた四角型。当初はベレー帽も付属していた。自画自賛になるが、今見ても良いデザインだと

思う。

初年度は、女子の入学者も少なく、数が見込めないことから県内の業者は扱ってくれなかった。東京の三越デパートが扱ってくれることとなった。今のように入宅配便が無い時代であった。入学式に間に合わせるために、東京から配送された制服を、教職員で手分けをして、新入生の家庭に届けた。

娘も新島学園の卒業生である。自分のデザインした制服に、我が子が身を包んで登校するのは非常にうれしいことであった。一旦終了

追記1

聞き手である私は32期卒業生で、山縣先生には学年担任としてお世話になりました。残念ながら学級担任のチャンスには恵まれませんでした。が、「古文」の授業は高校3年間お世話になりました。「山縣古文」の信奉者を自認しています。「ど、ども、ば、り、は已然形」「未然【ば】ならば、已然【ば】なので、から、と、ところ：」「あり、をり、はべり、いまそかり」：などは、山縣古文の授業を受けたことのある人ならおなじみのフレーズでしょう。こうしたフレーズで、難解な文語文法もいつの間にか身につけてしまふのです。授業について行くだけで、特別な対策も必要無く、大学入試問題が解けるようになりました。同僚の国語教師となつてからも、理想の国語授業の一つのスタイルだと考えていました。授業参観等で、「山縣古文」を知る人から、山縣先生の授業に似ていると言われた時には、本当にうれしく思いました。今回参考にさせていただきました。

た自叙伝『昭和の激流の中を』の前半部の、誕生から大学受験までの部分は、そのほとんどが高校3年の「日本史」の最終課題を使ったものだそうです。大学受験を控えた年末年始、受験への不安やあせりから、自暴自棄になりながら大晦日も正月も無く丸二日間書き上げたのだそうです。原稿用紙54枚にわたる大作です。授業担当の篠原博先生からは「まとまりも良い。事実の取捨選択も完璧に近い。努力に感謝する。」という最大級の評価をいただいたというのもうなずけます。「この課題を書き上げてからは、不思議と落ち着いて、受験勉強に身が入るようになった」のだそうです。自ら取り組むという点で、まさにアクティブラーニング。普遍的な学習活動だったので。

つか質問をさせていただきました。

《クラス礼拝では、旧讃美歌の90番を歌う！というのを同級生から聞きました：》

校歌は1958年の制定である。それより前の時代はこの「こも神の御国なれば」を校歌の代わりとして歌っていた。

《しばしば『天邪鬼になれ！』とおっしゃっていました。その真意は：》

個性の尊重が大切だ！教育の五原則には「一人ひとりの生徒を愛し、その人格を重んずる」がある。やはり、私立学校、特に新島学園では一人ひとりの生徒を大切に育てなければならぬ。

《自動車がお好きですね。ガルーイングドアのトヨタ・セラに乗っていた時期がありました：》

車は妻が選ぶ。スタイルの良いスポーツタイプが好きなようだ。（やや照れながら）

《これからの新島学園にのぞむことを一言お願いします：》

創立当時から「生徒を大切に作る学校」だった。規模が大きくなってもそうあり続けて欲しい。五原則の「一人ひとりの生徒を愛し、その人格を重んずる」を守り続けて欲しい。

新島学園第1期生にして、

卒業生教師第一号。おしどり夫婦。ダンディーで素敵な先輩です。

あらためて、いつまでも若々しい山縣先生でいて欲しいと思いました。

追記2

新島学園中学校・高等学校の制服について

1947年終戦直後の開校であり、制服などの規定は無く、まずは学校に集うことを重視していた。男子校であり学生服を着用していた生徒も多くいた。制服制定前の高校の卒業式では、卒業生は背広姿で参列する事が多かった。

1968年女子の入学にあわせて女子制服が制定。20期高校1年生（21名）、23期中学1年（14名）。男子制服は1980年高校生32期高校1年生、35期中学1年生から順次制定。

現在の新島学園の制服は1998年にマイナーチェン

ジをしている。その時にも三越デパートがひと役かつてくれた。その時の三越デパートには、新島学園が初めて制服を作った時の事を覚えているデザイナーがまだいたのである。基本のスタイルは変更せず、体格が良くなった現代の生徒の体格に合わせたものとなった。グレーがやや濃くなり、スカートのボックスプリーツは前後左右1つずつ増えた。ボタンは金ボタンになり、ダブルの衿は変わらないうが、4つボタンは2つボタンに変更。襟や裾が丸くカットされている。共生地のベストは、紺のニットベストに変更となった。

新島学園の女子制服は、今見ても非常に上品だと思う。マインナーチェンジの時に三越のデザイナーが「上品で非常に優れたデザイン、基本的な所は変える必要が無い」と語っていたことが印象的である。

新島文化研究所 星野伸樹

訃報

里見義康先生



長く（1958年4月～2001年3月）英語科でご指導いただきました里見義康先生が2022年3月26日に86歳で逝去されました。いつも優しいさっぱいの授業でした。

天に召された里見先生の平安をお祈りいたします。

昨年発行の「根笹54号」に里見先生にお話を聞いた際の記事が載っています。

「根笹賞」 協賛金賛同者一覧 (2021年9月21日～2022年5月10日)

協賛金：企業の場合：1口10,000円 個人の場合：1口3,000円

協賛金 3,000円

山 縣 英 明 (1期) 小野関光治 (4期) 高 橋 真 実 (4期) 半 田 三 郎 (4期) 田 村 量 基 (6期)
 小 栗 範 保 (7期) 清塚洋太郎 (8期) 柘 植 正 (8期) 若 松 日 男 (12期) 古 谷 健 (15期)
 横 尾 廣 之 (15期) 松 崎 幸 雄 (17期) 磯 貝 和 俊 (18期) 岸 和 男 (18期) 松 江 実 (19期)
 天 田 雅 己 (20期) 黒 澤 弘 典 (20期) 栗 原 昭 雄 (20期) 善如寺留美子 (20期) 山 崎 康 (22期)
 入 治 彦 (23期) 関 口 佳 孝 (23期) 上 原 メ イ 子 (24期) 上 原 亮 (24期) 小 板 橋 秀 夫 (25期)
 小 林 栄 郎 (25期) 中 島 進 (25期) 大 木 正 (27期) 眞 下 浩 (27期) 沖 田 恭 子 (28期)
 臼 田 周 一 (30期) 田 口 啓 介 (30期) 山 田 勝 光 (30期) 楠 谷 隆 (31期) 新 野 和 伸 (36期)
 鈴 木 修 一 (37期) 町 田 聡 (39期) 熱 海 恵 美 子 (41期) 佐 藤 敬 樹 (42期) 加 藤 一 寿 (46期)
 伊 佐 治 千 尋 (46期) 矢 野 間 由 里 (46期) 遠 藤 明 子 (48期) 春 山 忍 (50期) 松 田 智 也 (54期)
 花 光 美 佳 子 (55期) 小 林 拓 郎 (63期) 稲 垣 幸 多 (64期) 稲 垣 理 奈 (66期) 紋 谷 宥 典 (66期)
 松 井 孝 裕 (67期) 黒 崎 涼 太 (69期) 稲 垣 拓 朗 (70期)

【掲載辞退 31名】

協賛金 2口 6,000円

新 井 章 司 (9期) 中 島 伸 一 (9期) 前 田 茂 (11期) 小 島 信 生 (11期) 上 原 一 彦 (14期)
 山 本 英 夫 (16期) 佐 俣 幹 夫 (28期) 湯 本 直 也 (28期) 菅 谷 紀 梨 子 (31期) 池 下 貴 子 (42期)

【掲載辞退 5名】

協賛金 3口 9,000円

久 保 庭 和 雄 (4期) 天 田 清 之 助 (6期) 高 橋 洋 一 (12期) 江 村 邦 雄 (17期) 小 林 隆 一 (18期)
 立 見 賢 治 (20期) 櫻 井 宏 信 (21期) 木 村 信 明 (25期) 山 田 中 久 (26期) 下 城 郁 雄 (37期)
 有 田 大 輔 (41期)

【掲載辞退 5名】

協賛金 10,000円

永 山 敏 之 (8期) 松 井 誠 (10期) 高 橋 昌 司 (11期) 嶋 田 孝 (12期) 水 上 征 隆 (12期)
 入 澤 忠 夫 (15期) 遠 藤 稔 (15期) 阪 本 要 一 (15期) 黒 澤 重 雄 (18期) 宇 津 木 泉 (20期)
 紋 谷 直 幸 (32期) 生 方 康 浩 (35期)

(株)吉田鉄工所【吉田勝彦 (12期)】

フォーチュンコンサルティング【小林謙二 (15期)】

難波歯科医院【難波克明 (15期)】

丸山眼科クリニック【丸山明信 (15期)】

佐藤光昭技術士事務所【佐藤光昭 (20期)】

(株)コムテックス【小林正明 (20期)】

ヤマハ板鼻教室【田中美香 (29期)】

(株)有賀【有賀一師 (30期)】

佐藤産業(株)【佐藤克佳 (33期)】

(株)ソーイングオオウチ【大内康孝 (34期)】

(株)ヤマハチクボニワ【久保庭哲夫 (37期)】

(株)日本労務センター【山田恵一 (37期)】

医療法人栄和会【淡嶋匡史 (40期)】

(有)八百万商店【荻原昌弘 (45期)】

(株)氷見鉄工所【氷見国雄 (47期)】

(株)藤田【藤田順也 (52期)】

【掲載辞退 6名】

協賛金 4口 12,000円

萩 原 達 夫 (35期)

協賛金 5口 15,000円

松 本 修 平 (14期)

協賛金 20,000円

カルチュア・モリタ【森田信二 (16期)】

(株)高崎松風園【山口俊輔 (43期)】

協賛金 7口 21,000円

室 伏 真 理 (48期)

協賛金 8口 24,000円

【掲載辞退 1名】

協賛金 30,000円

森 田 英 樹 (18期)

(有)高崎塗装工業所【青島 浩 (15期)・青島真一 (43期)】

国際警備(株)【山崎 健 (37期)】

【掲載辞退 4名】

協賛金 33,000円

12期同期会

協賛金 50,000円

【掲載辞退 1名】

協賛金 100,000円

5期生同期会

合計 165個人・企業 1,331,000円

以上、ご賛同いただいた皆様 ありがとうございます



2022年度根笹会理事・評議員会（総会）報告



2020年の初頭から、新型コロナウイルス感染症の影響により対面実施が困難となっていた同窓会総会が、6月4日(土)の午前中に新島学園中学校・高等学校の礼拝堂で開催されました。

3年ぶりの開催となった総会は、理事・評議員総数575名に対して、出席者71名・委任状提出者234名の計305名となり、定足数である1/2を満たして成立。来賓として湯浅康毅学園理事長、古畑晶中学校・高等学校長、駒田純久短期大学学長補佐をお迎えし、聖歌隊の素晴らしい合唱が披露された後、山田副会長の司会・進行のもと、立見会長並びに湯浅理事長の挨拶で総会が開始されました。

また、総会では立見会長が議長に選出され、第1号から第4号の議案（前年度事業報告、同収支決算

報告及び監査報告、今年度事業計画案、同収支予算案、各議案は別途参照のこと）について審議・承認されました。さらに、担当本部役員から根笹会・同期会開催状況について、古畑校長から中学・高校の現況について、駒田学長補佐から短期大学の現況についての各報告が行われました。

おわりに、出席者全員で校歌を斉唱するとともに、次年度には従来通りの根笹会総会の開催と懇親会の実施を願い、総会を終了いたしました。なお、本年度の総会は、コロナ禍の中さまざまな状況を判断し、土曜日の午前中に母校礼拝堂での開催といたしました。ご理解を頂ければ幸いです。

【副会長 谷 勝彦（25期）】

お知らせ

これまでの同窓会報『根笹』のバックナンバーは、同窓会のホームページ(<http://www.neesima-dosokai.jp/>)からご覧いただけます。

同窓会報『根笹』

検索

【『根笹』最近掲載の主な寄稿文】

第50号

◎創立70周年を迎え 新島裏の原点に立ち返り、新たな行動指針で臨む

新島学園 中学校・高等学校校長 岩間 秀彬

◎ビックリ 帆船三姉妹

2期生 淡路 博和

第51号

◎改めて『新島学園のキリスト教教育』を考える

学校法人新島学園 理事長 湯浅 康毅

◎変化の中の新島学園中学・高校と将来の方向

新島学園中学校・高等学校 校長 岩間 秀彬

第52号

◎苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生む

学校法人新島学園 理事長 湯浅 康毅

◎新たな出発、今思うこと

新島学園中学校・高等学校 校長 古畑 晶

◎恩師探訪『新島学園同窓会の立役者』岡 賢先生

第32期生 星野 伸樹

第53号

◎息を合わせる -60期生以降の皆さんへ

学校法人新島学園 理事長 湯浅 康毅

◎高校ソフトボール部 第13回U18男子ソフトボール
WORLD CUP in NewZealand 報告

新島学園高等学校ソフトボール部顧問 45期生 田中 徹浩

第54号

◎教育の五原則 新島学園ファームの意味

学校法人新島学園 理事長 湯浅 康毅

◎新島学園開校記念講演会

新島学園てどんな学校? -その歴史と特徴-

同志社大学名誉教授 学校法人新島学園 理事 原 誠

地区根笹会・同期会

2021年度 開催報告

〈地区根笹会〉 予定されていた根笹会はコロナ禍のためすべて中止となりました。

〈同窓会〉 6期同窓会 2021年9月2日(木)～3日(金) 晴観荘 4人参加

2022年度 開催予定

〈地区根笹会〉 東京根笹会 10月22日(土) 14時予定 日本外国特派員協会

高崎根笹会 11月11日(金) 18時 総会／18時30分 懇親会 マリエール高崎

前橋根笹会 検討中

富岡かんら根笹会 検討中

2021年事業報告

年月日	事業名	場 所	備 考
2021年			
4月23日(金)	本部役員会	新島学園フィリアホール	総会について
6月	理事・評議員会(総会)	郵送による書面決議	総会資料HP掲載
6月19日(土) ～20日(日)	学園祭	新島学園中学校・高等学校	コロナ禍の状況により生徒のみでの開催
7月28日(水)	本部役員会	新島学園フィリアホール	同窓会報「根笹」打ち合わせ
8月31日(火)	サマーコンサート(一般向け)	新島学園礼拝堂	新型コロナウイルス感染症防止のため中止
9月1日(水)	サマーコンサート(生徒向けのみ)		
中 止	第43回ゴルフ大会	富岡倶楽部	新型コロナウイルス感染症防止のため中止 担当期：34期、40期(次年度継続)
10月1日(金)	同窓会報「根笹」54号発行	同窓会報「根笹」郵送	
10月中旬	本部役員会	新島学園フィリアホール	新型コロナウイルス感染症防止のため中止
12月26日(日)	ウィンターコンサート	軽井沢大賀ホール	
2022年			
1月28日(金)	本部役員会(根笹賞選考会)	新島学園フィリアホール	新型コロナウイルス感染症防止のため書面決議
2月28日(月)	同窓会入会式	新島学園礼拝堂	高校卒業式予行にて
3月1日(火)	根笹賞授与式(高校)	新島学園礼拝堂	高校卒業式にて
3月18日(金)	根笹賞授与式(中学)	新島学園礼拝堂	中学卒業式にて

2022年事業計画(案)

年月日	事業名	場 所	備 考
2022年			
4月28日(木)	本部役員会	新島学園フィリアホール	総会について
6月4日(土)	理事・評議員会(総会)	新島学園礼拝堂	
7月	本部役員会	新島学園フィリアホール	同窓会報「根笹」打ち合わせ
8月30日(火)	サマーコンサート(一般向け)	新島学園礼拝堂	
9月19日(月・祝)	第44回ゴルフ大会	富岡倶楽部	担当期：34期、40期
10月1日(土)	同窓会報「根笹」55号発行	同窓会報「根笹」郵送	
10月中旬	本部役員会	新島学園フィリアホール	
12月25日(日)	クリスマスコンサート	軽井沢大賀ホール	主催：新島学園中学校高等学校
2023年			
1月中旬	本部役員会	未 定	根笹賞選考会
2月28日(火)	同窓会入会式	新島学園礼拝堂	高校卒業式予行にて
3月1日(水)	根笹賞授与式(高校)	新島学園礼拝堂	高校卒業式にて
3月17日(金)	根笹賞授与式(中学)	新島学園礼拝堂	中学卒業式にて

2021年度同窓会決算報告

一般会計 2021年度 収支決算書 (2021.4.1～2022.3.31) (単位：円)					一般会計 2022年度 収支予算書(案) (2022.4.1～2023.3.31) (単位：円)				
収 入					収 入				
科 目	予算額	決算額	予算差異	備 考	科目	前年度決算額	予算額	増 減	備考
前年度繰越金(1)	8,242,977	8,242,977	0		前年度繰越金(1)	8,242,977	14,560,029	6,317,052	
同窓会費収入	6,510,000	6,520,000	10,000	10,000×652名(71期生・73期生・76期生)	同窓会費収入	6,520,000	3,920,000	▲2,600,000	10,000×392名(中1・高1 合計)
名簿代収入	0	4,370	4,370		名簿代収入	4,370	4,000	▲370	
利息収入	1,000	262	▲738	定期204円 普通58円	利息収入	262	1,000	738	前年実績
雑収入	1,700,000	1,864,890	164,890	根笹協賛金	雑収入	1,864,890	1,900,000	35,110	根笹協賛金
収入小計(2)	8,211,000	8,389,522	178,522		収入小計(2)	8,389,522	5,825,000	▲2,564,522	
収入合計(1)+(2)	16,453,977	16,632,499	178,522		収入合計(1)+(2)	16,632,499	20,385,029	3,752,530	
支 出 (単位：円)					支 出 (単位：円)				
科 目	予算額	決算額	予算差異	備 考	科 目	前年度決算額	予算額	増 減	備考
印刷費	10,000	0	▲10,000	同窓会報根笹印刷費	印刷費	0	10,000	10,000	根笹印刷費
会議費	130,000	32,668	▲97,332	役員会等	会議費	32,668	300,000	267,332	会議費・総会費用
事務費	160,000	155,667	▲4,333	コピーリース145,200円 使用料10,467円	事務費	155,667	160,000	4,333	コピーリース料・使用料
消耗品費	5,000	3,042	▲1,958	ファイル代	消耗品費	3,042	5,000	1,958	
遠征費補助金支出	200,000	175,000	▲25,000	部活動全国大会出場祝金	遠征費補助金支出	175,000	200,000	25,000	部活動大会出場補助
同窓会等助成金支出	300,000	10,000	▲290,000	6期同窓会開催	同窓会等助成金支出	10,000	300,000	290,000	同窓会・地区根笹会補助
旅費交通費	10,000	0	▲10,000		旅費交通費	0	10,000	10,000	事務局関係旅費
通信費	80,000	82,414	2,414	電話料金・郵便代等	通信費	82,414	85,000	2,586	電話料金・郵便代等
根笹編集関連費	140,000	131,230	▲8,770	ホームページ 131,230円	根笹編集関連費	131,230	140,000	8,770	ホームページ更新料
同窓会主催事業費	1,250,000	1,136,679	▲113,321	根笹送付	同窓会主催・共催事業費	1,136,679	1,700,000	563,321	根笹送付費用・学校支援積立金等
学園祭協賛金	300,000	300,000	0		学園祭協賛金	300,000	0	▲300,000	
雑費	80,000	45,770	▲34,230	県下高校OB・OGゴルフ等	雑費	45,770	80,000	34,230	
予備費	30,000	0	▲30,000		予備費	0	30,000	30,000	
支出小計(4)	2,695,000	2,072,470	▲622,530		支出小計(4)	2,072,470	3,020,000	947,530	
当年度収支差額(2)-(4)	5,516,000	6,317,052	801,052		当年度収支差額(2)-(4)	6,317,052	2,805,000	▲3,512,052	
次期繰越(5)	13,758,977	14,560,029	801,052		次期繰越(5)	14,560,029	17,365,029	2,805,000	
支出合計(4)+(5)	16,453,977	16,632,499	178,522		支出合計(4)+(5)	16,632,499	20,385,029	3,752,530	

注：予算差異の▲は、予算未達成を意味する。

注：予算差異の▲は、前年度実績を下回る予算額を意味する。

収支決算 財産目録 (単位：円)			予算案 財産目録 (単位：円)		
資産の部			資産の部		
		決算額			前年実績
現金	156,435円 振替口座	174,730円	現金・振替口座	331,165	0
普通預金	群馬銀行 / 安中支店 No.446478	14,228,864	普通預金	群馬銀行 / 安中支店 No.446478	14,228,864
繰越金残高計(a)		14,560,029	繰越金残高計(a)	14,560,029	17,365,029
固定性定期預金	群馬銀行 / 安中支店 No.368546(b)	12,000,000	定期預金	群馬銀行 / 安中支店 No.368546(b)	12,000,000
正味財産(a)+(b)		26,560,029	正味財産(a)+(b)	26,560,029	29,365,029

根笹基金 2021年度 収支決算書 (2021.4.1～2022.3.31) (単位：円)					根笹基金 財産目録 (単位：円)				
収 入					支 出				
科 目	決算額	備 考	科 目	決算額	備 考	科 目	決算額	備 考	備 考
前年度繰越金	16,176,801	定期預金 15,000,000円 普通預金 1,176,801円	褒賞費	283,045	ギフトカード	普通預金	群馬銀行 / 安中支店 No.741658	893,472	
寄附金収入	0		賞状ファイル代	0		定期預金	群馬銀行 / 安中支店 No.378360	15,000,000	
利息収入	266	定期預金利息 255円 普通預金利息 11円	雑費	550	残高証明書	正味財産		15,893,472	
雑収入	0		支出小計(2)	283,595		会計監査報告 2021年度(2021年4月1日～2022年3月31日)の一般会計及び根笹基金会計の会計帳簿並びに証書類を監査した結果、すべて適切・正確に処理されていると認めます。 2022年4月28日 佐藤光昭 武蔵利通 小森栄一郎			
収入小計(1)	266		当年度収支差額(1)-(2)	▲283,329					
合計	16,177,067		次期繰越金	15,893,472					
			支出合計	16,177,067					